

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(11月5日に公表された情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的にこなわれています11月5日に公表された結果によると、645件(福島県128件)の検査がおこなわれていました。基準を超えたものはありませんでした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

(1)検査について基準を超えたものについて

- ①山梨県で採取された野生きのこについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。
 - ア. 山梨県富士吉田市:アマタケ(110 ベクレル/キログラム)
 山梨県の上記地域では、国の出荷制限指示または県の出荷自粛を要請しているため市中には出回っていません。
- ②岩手県で採取された野生きのこについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。
 - ア. 岩手県盛岡市:コウタケ(130 ベクレル/キログラム)
 岩手県の上記地域では、国の出荷制限措置はありませんが、当該きのこは非売品であったため市中に出回っていませんでした。
- ③福島県で捕獲された野生鳥獣について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。
 - ア. 福島県須賀川市:イノシシ(110 ベクレル/キログラム)
 - イ. 福島県会津坂下町:イノシシ(110 ベクレル/キログラム)
 - ウ. 福島県二本松市:イノシシ(260 ベクレル/キログラム)ツキノワグマ(160,200,130 ベクレル/キログラム)
 - エ. 福島県相馬市:イノシシ(130 ベクレル/キログラム)
 - オ. 福島県南相馬市:イノシシ(220 ベクレル/キログラム)
 - カ. 福島県福島市:ツキノワグマ(140,150 ベクレル/キログラム)
 - キ. 福島県桑折町:イノシシ(110 ベクレル/キログラム)
 福島県の上記地域では、国の出荷制限措置がとられているため、当該野生鳥獣肉は市中には出回っていません。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

表1. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2019年10月25日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月 1日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月15日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年12月 6日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月31日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月21日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月13日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 6月12日	99.5%	0.5%	0.0%
2020年 7月14日	100%	0.0%	0.0%
2020年 9月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年10月13日	99.6%	0.4%	0.0%

3. 関連情報 …特にありません。

以上